

前橋市産業振興ビジョン
統計分析補足資料

【目次】

総括	・・・	1 ページ
1. 日本の産業をめぐる状況		
(1) 総人口・産業人口の推移	・・・	2 ページ
(2) 製造業の海外シフト	・・・	3 ページ
(3) 研究開発費・設備投資の推移	・・・	4 ページ
2. 前橋市の概況		
(1) 前橋市の人口推移	・・・	5 ページ
(2) 前橋市の産業構造	・・・	5～8 ページ
3. 類似都市との産業構造比較	・・・	9～10 ページ

総括

【日本の産業をめぐる状況】

- ・総人口は平成 20 年をピークに平成 22 年より減少を開始し、約 20 年後には現在より 1000 万人減少の見込み。
- ・ここ数年、労働力人口は緩やかな減少傾向にある。
- ・製造業に従事する人口も減少傾向にあり、また、労働力全体における割合も低下している。
- ・製造業を発端とするサービス業における間接雇用者は 688 万人の上り、製造業の従事者と合わせて、いまだ我が国の基幹的な産業である。
- ・海外で現地生産を行う企業の割合は増加を続けており、(東証・大証・名証の 1 部 2 部上場製造業企業のうち) 海外生産を行っているのは 2 / 3 に及ぶ。
- ・企業が研究開発に投資する費用は平成 19 年をピークに低下している。
- ・設備投資についても、停滞減少傾向にある。

【前橋市の概況】

- ・前橋市の人口は平成 17 年から減少が始まっている。
- ・平成 12 年度には 34 万人超の人口は、平成 42 年度には 30 万 5 千人に落ち込む見込み。
- ・人口構成も少子高齢化が推移し、平成 42 年度には高齢者が 30% 近くに達するほか、生産年齢人口 (15~64 歳) は、現状より 12% の減少が見込まれる。
- ・製造業分野における事業所数及び出荷額も、全市の産業推移と同様に減少している。
- ・出荷額・事業所数が減少する中、1 事業所あたりの出荷額は伸張しており、生産の効率化が図られていることが伺える。
- ・製造業の主要業種では、食料品・金属製品製造業は、安定しており不況に強い業種といえる。
- ・電気機械器具製造業は、減少傾向が続いている。
- ・粕川との合併により製造業の出荷額が 1000 億近く増加している。
- ・市内の製造業事業所で最も多いのは「食料品製造」であり、次いで「金属製品」「印刷」である。
- ・総生産額では「輸送機器」が最も高く、次いで「食料品」「一般機械 (汎用・生産用・業務用)」となっている。「輸送機器」と「食料品」で前橋の総出荷額の 50% 近くを占める。
- ・付加価値率 (売上から原材料費や管理諸費を抜いたものを出荷額で割ったもの) は、「繊維」が最も高く、次いで「化学」「窯業・土木 (ガラス・煉瓦・陶器・コンクリート等)」となっている。
- ・出荷額の多い「輸送機器」「食料品」は付加価値率では下位となっている。

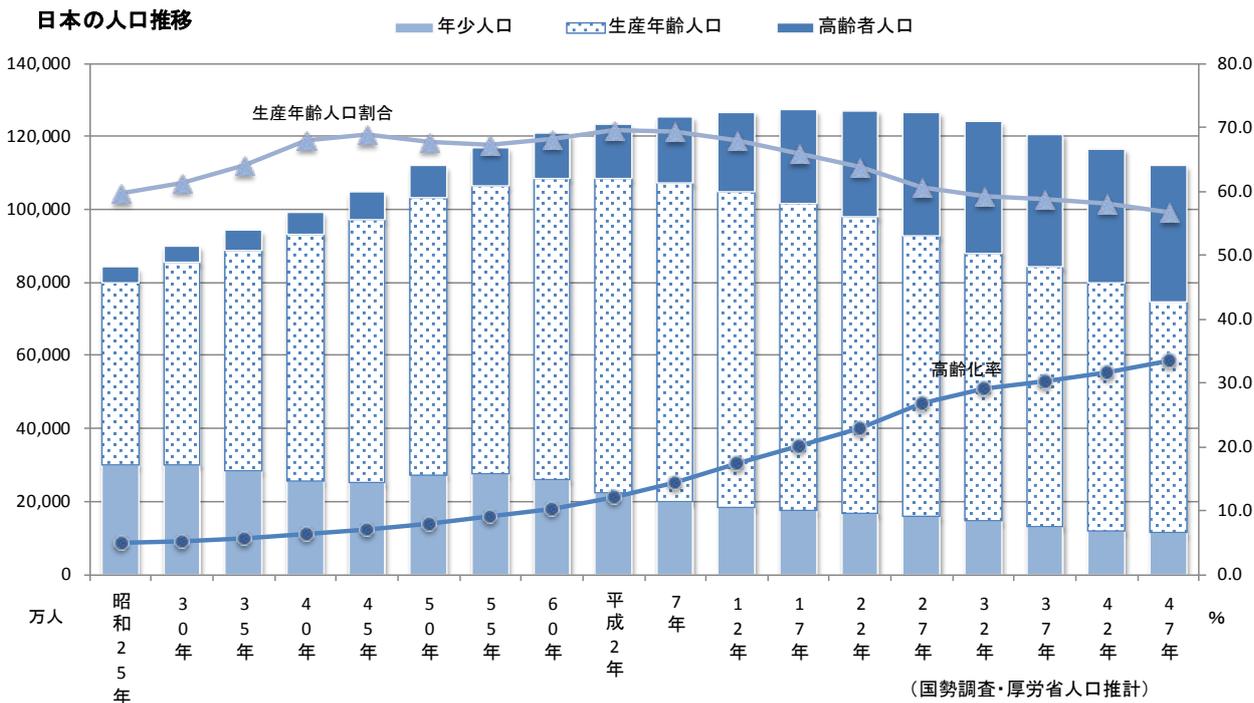
【類似都市との産業構造比較】

- ・前橋市の年間での売上金額 (原材料費等関連経費を含むもの) は 2 兆 4000 億円あまりであり、そのうち 5400 億円 (23%) が製造業による。
- ・前橋市では、卸売・小売業の占める割合が比較的大きいが、その他の産業においても他市と比較してもバランスの良い構造となっている。

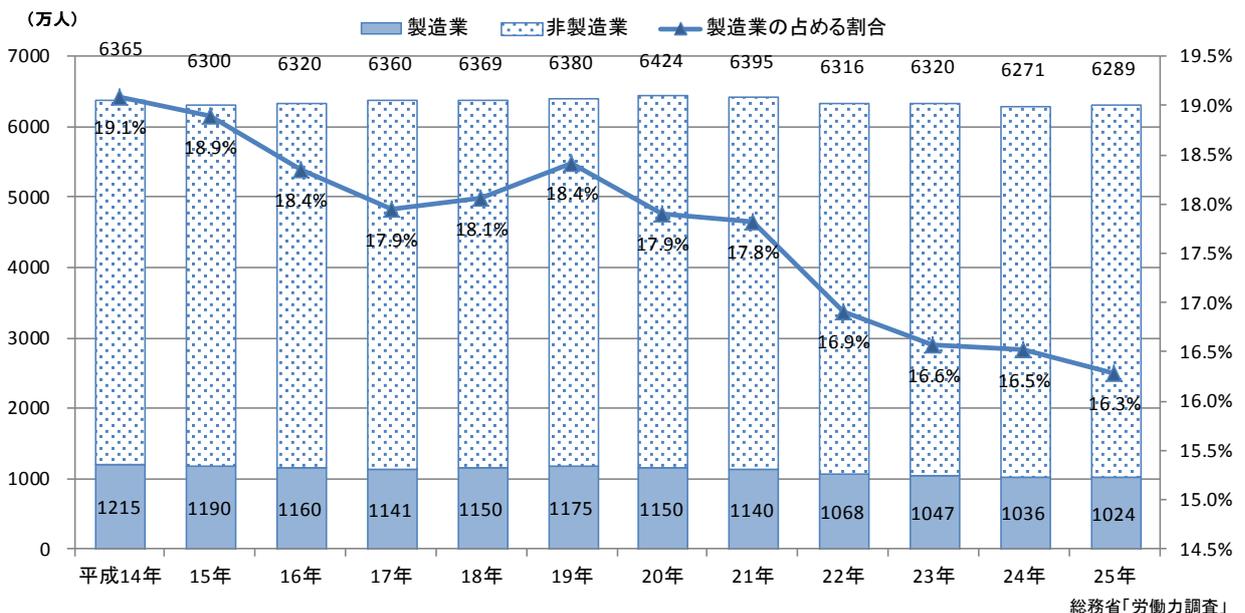
1. 日本の産業をめぐる状況

(1) 総人口・産業人口の減少

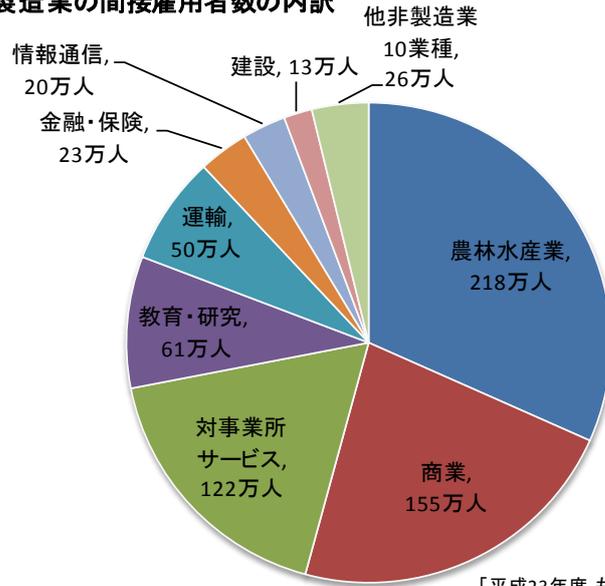
- 総人口は平成 20 年をピークに平成 22 年より減少を開始し、約 20 年後には現在より 1000 万人減少の見込み。
- ここ数年、労働力人口は緩やかな減少傾向にある。
- 製造業に従事する人口も減少傾向にあり、また、労働力全体における割合も低下している。
- 但し、製造業を発端とするサービス業における間接雇用者は 688 万人の上り、製造業の従事者と合わせて、いまだ我が国の基幹的な産業である。



就業者数の推移



製造業の間接雇用者数の内訳

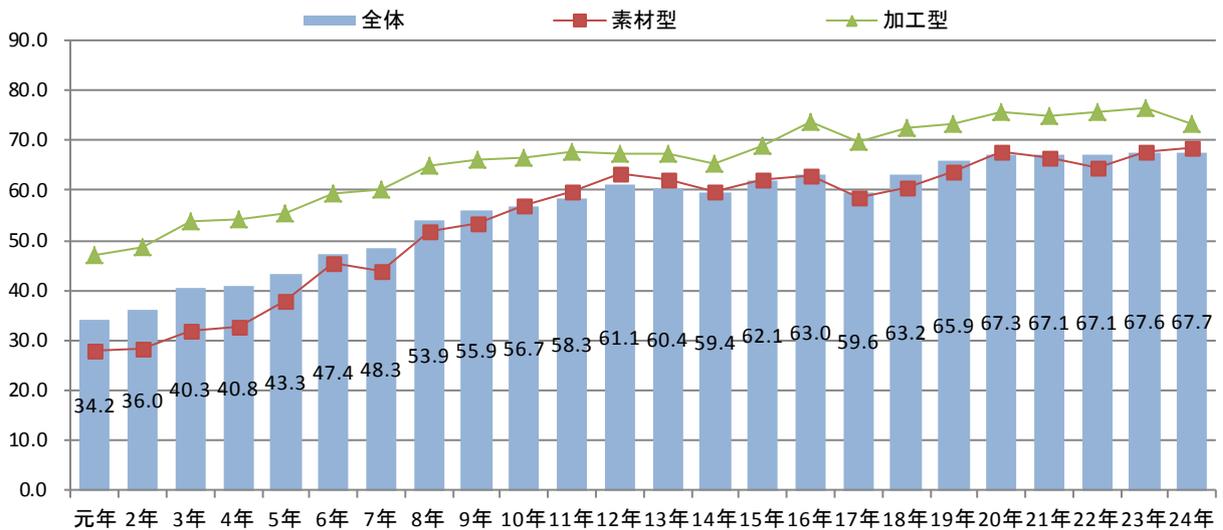


「平成23年度ものづくり白書」

(2) 製造業の海外シフト

- 海外で現地生産を行う企業の割合は増加を続けており、(東証・大証・名証の1部2部上場製造業企業のうち)海外生産を行っているのは2/3に及ぶ。

海外現地生産を行う企業の割合

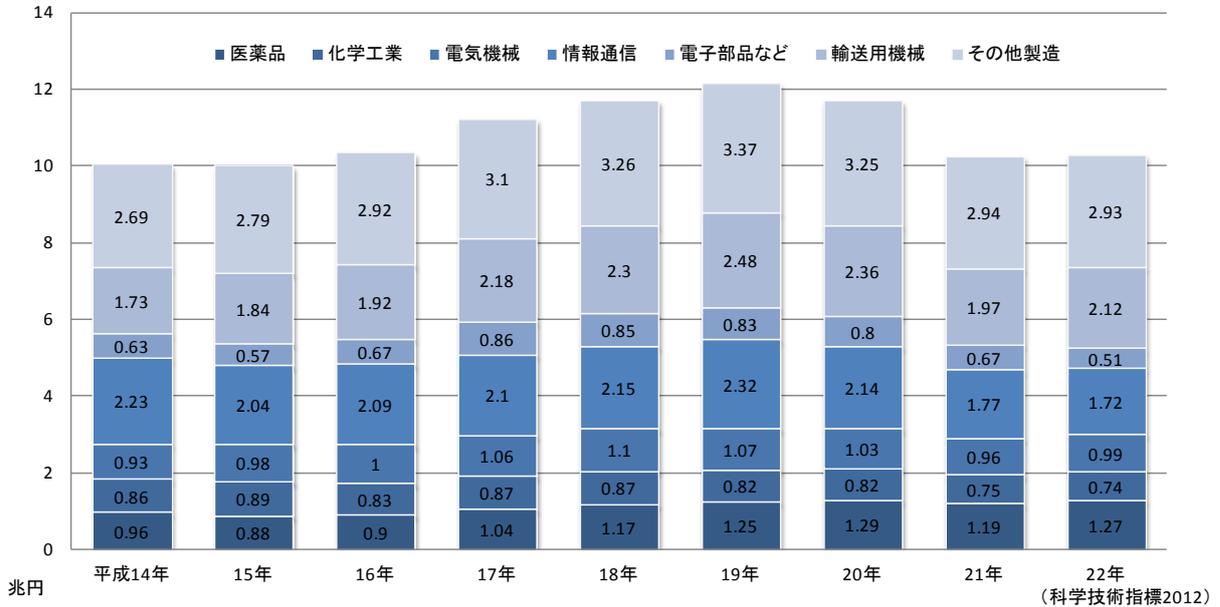


内閣府「平成24年度企業行動に関するアンケート調査」

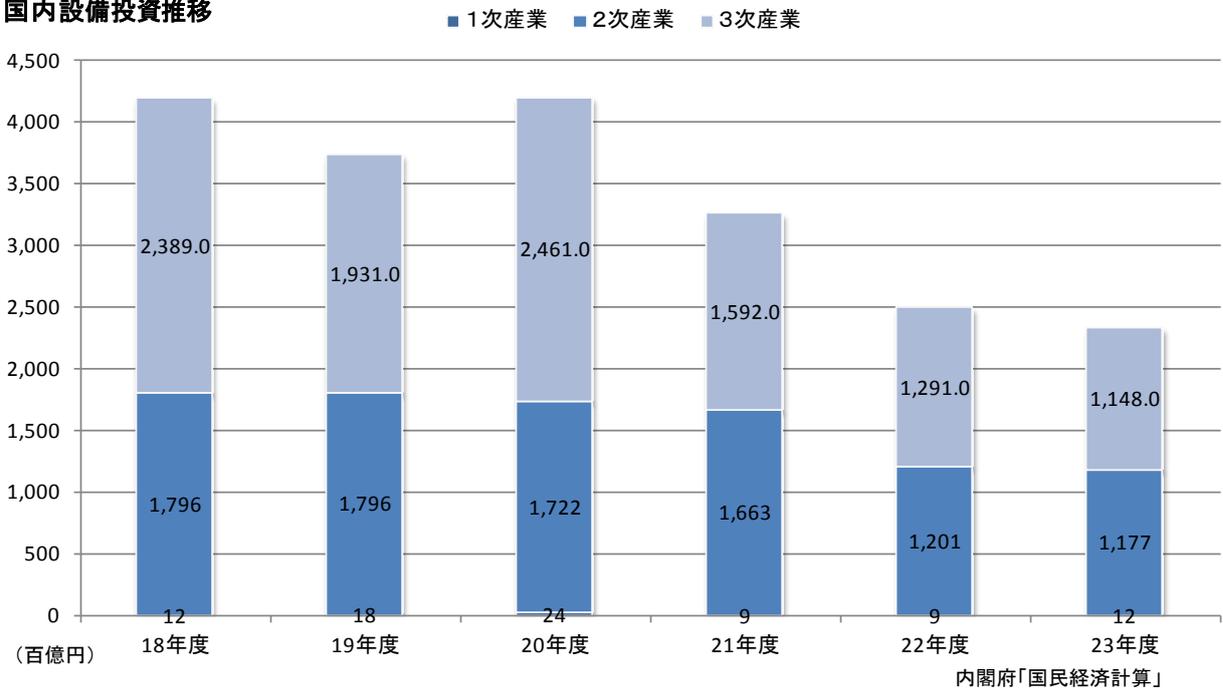
(3) 研究開発費・設備投資の停滞・低下

- 企業が研究開発に投資する費用は平成19年をピークに低下している。
- 設備投資についても、停滞減少傾向にある。

産業分類別研究開発費



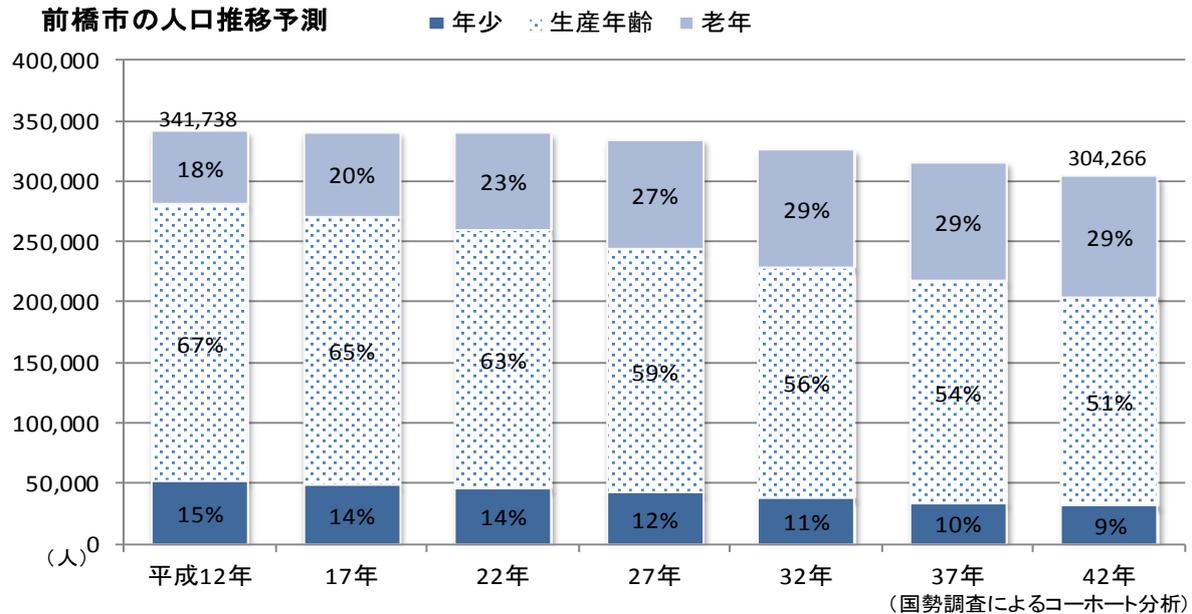
国内設備投資推移



2. 前橋市の概況

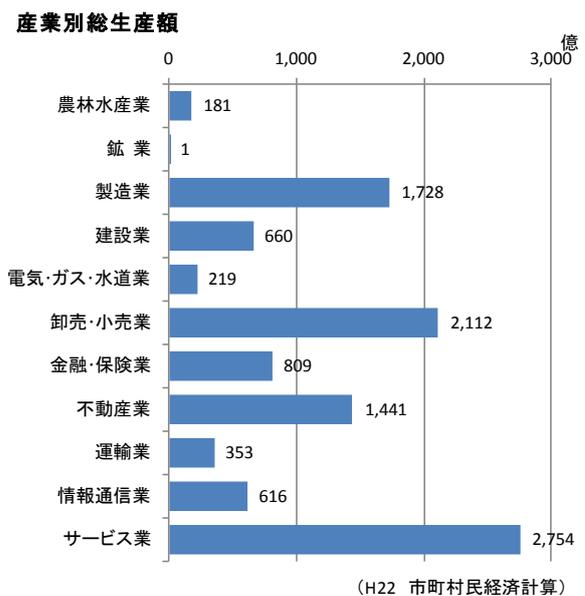
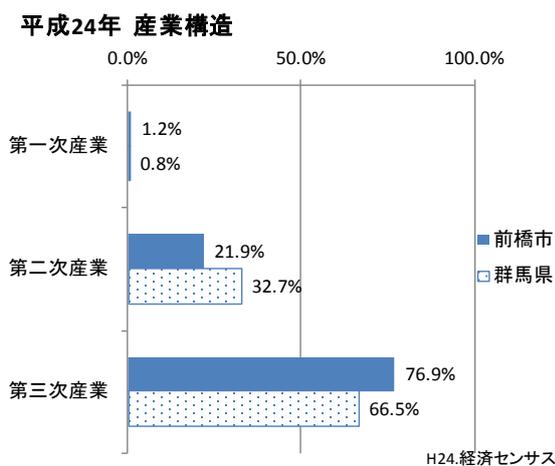
(1) 前橋市の人口推移

- 前橋市の人口は平成17年から減少が始まっている。
- 平成12年度には34万人超の人口は、平成42年度には30万5千人に落ち込む見込み。
- 人口構成も少子高齢化が推移し、平成42年度には高齢者が30%近くに達するほか、生産年齢人口（15～64歳）は、現状より12%の減少が見込まれる。



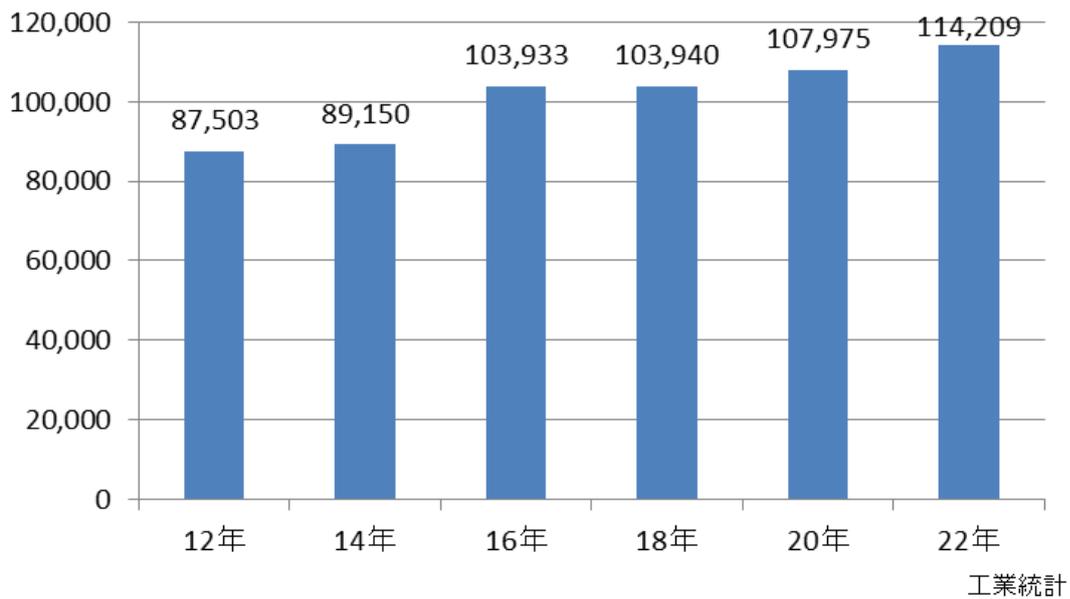
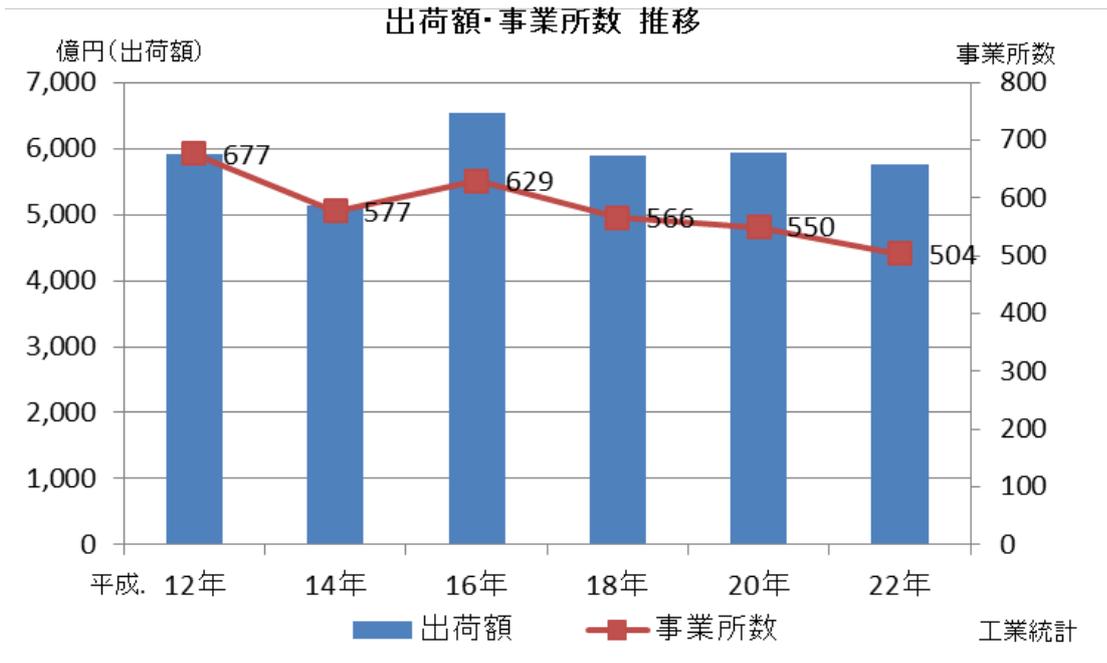
(2) 前橋市の産業構造

- 前橋市は第3次産業（サービス業）の割合が高く、第2次産業（製造業）の割合が低い（但し、都市地域では共通する傾向である）。
- 生産額が最も多いのはサービス業であり、製造業は市内の産業分類では第3位である。

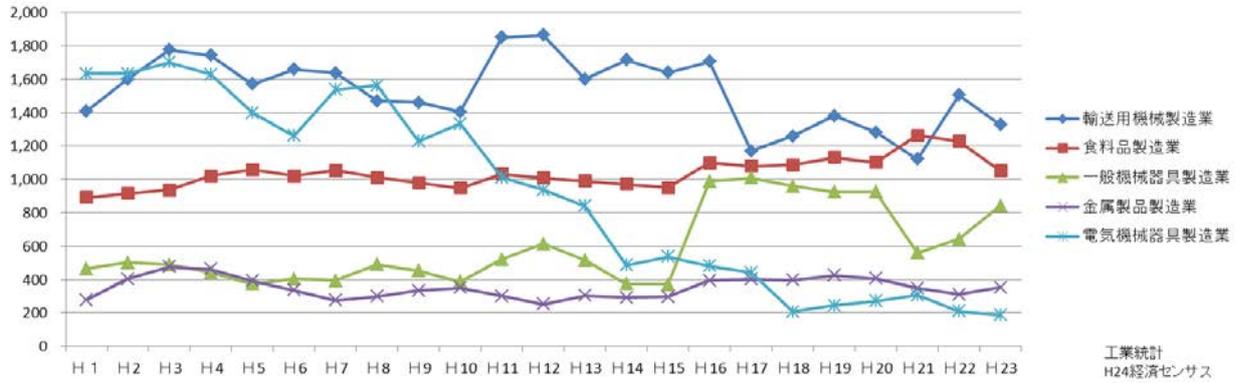


(3) 製造業分野の現状

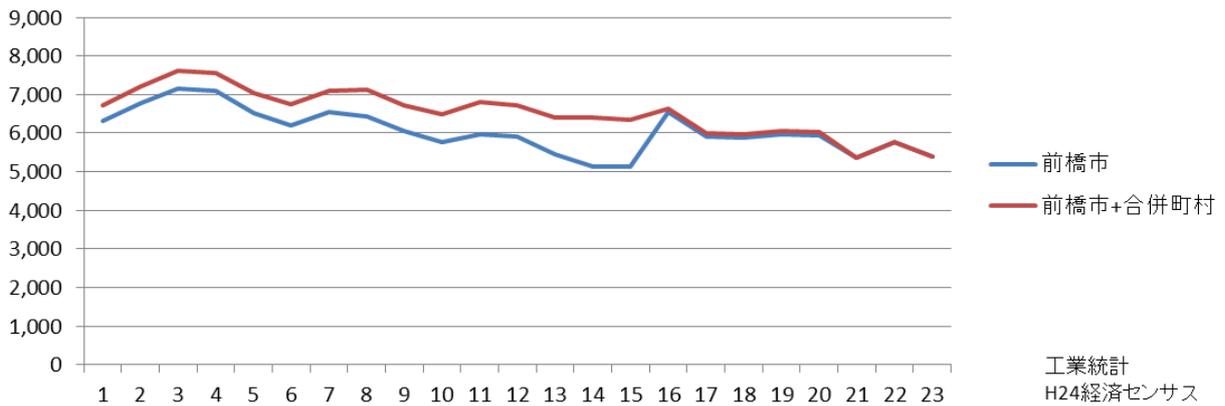
- 製造業分野における事業所数及び出荷額も、全市の産業推移と同様に減少している。
- 出荷額・事業所数が減少する中、1事業所あたりの出荷額は伸張しており、生産の効率化が図られていることが伺える。
- 製造業における主要業種では、食料品・金属製品製造業は、安定しており不況に強い業種といえる。
- 電気機械器具製造業は、減少傾向が続いている。
- 粕川との合併により製造業の出荷額が1000億近く増加している。



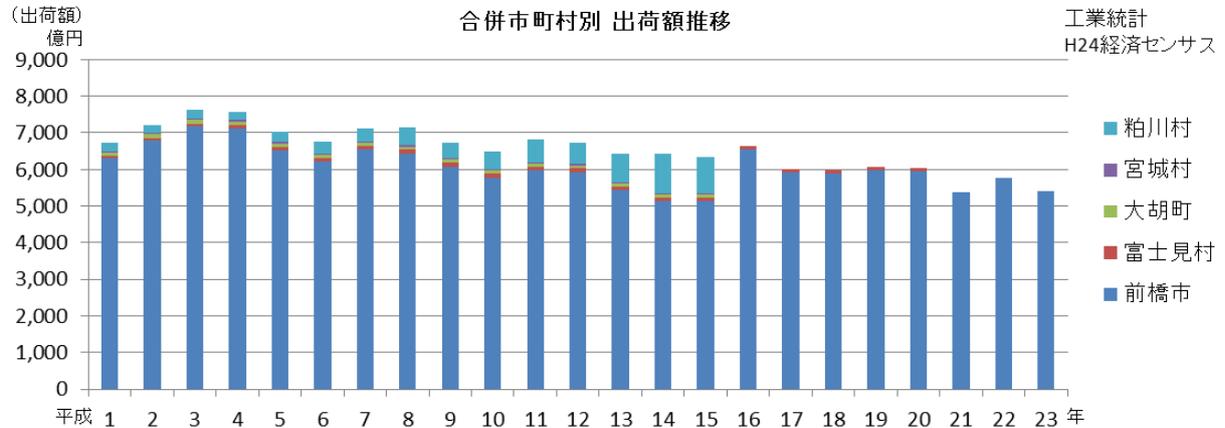
製造業の主要事業別 出荷額推移



前橋市・合併町村 出荷額推移



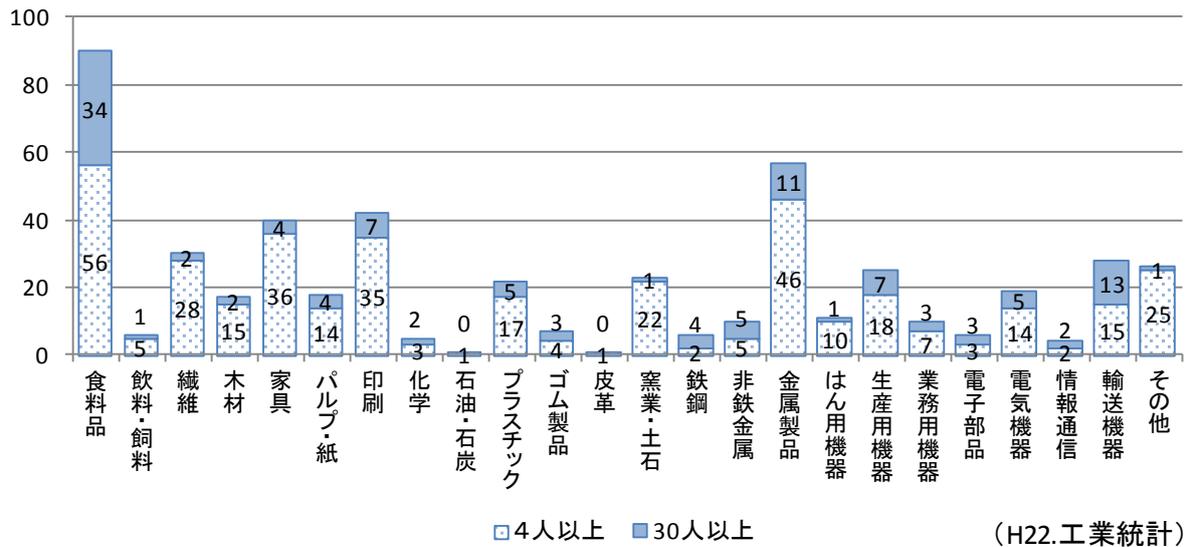
合併市町村別 出荷額推移



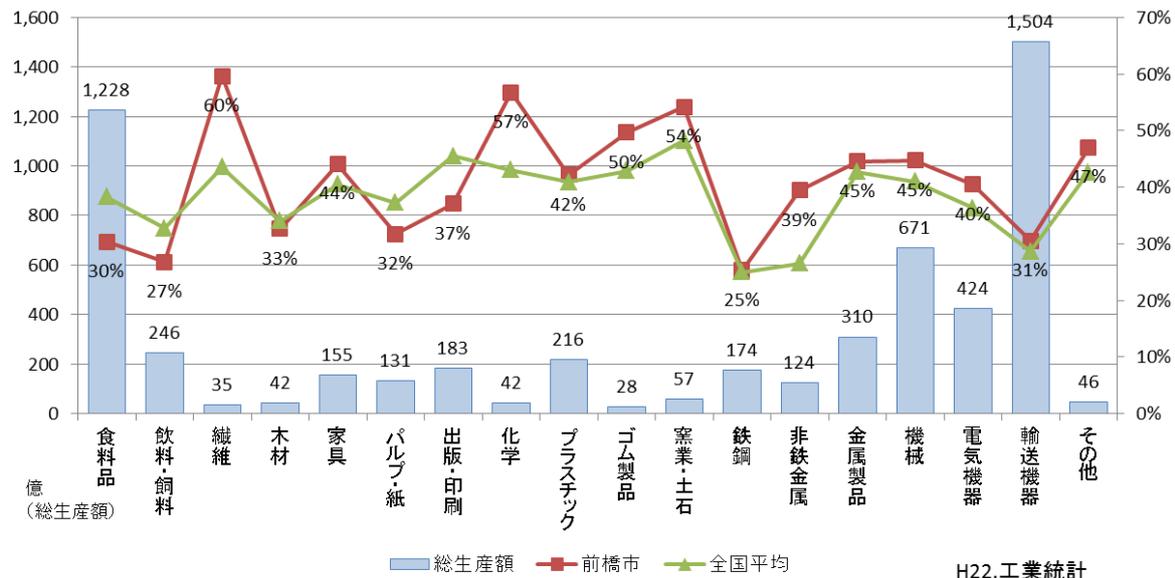
(3) 製造業分野の事業所数と生産額

- ・ 市内の製造業事業所で最も多いのは「食料品製造」であり、次いで「金属製品」「印刷」である。
- ・ 総生産額では「輸送機器」が最も高く、次いで「食料品」「一般機械（汎用・生産用・業務用）」となっている。「輸送機器」と「食料品」で前橋の総出荷額の50%近くを占める。
- ・ 付加価値率（売上から原材料費や管理諸費を抜いたものを出荷額で割ったもの）は、「繊維」が最も高く、次いで「化学」「窯業・土木（ガラス・煉瓦・陶器・コンクリート等）」となっている。
- ・ 出荷額の多い「輸送機器」「食料品」は付加価値率では下位となっている。

各産業区分の事業所規模



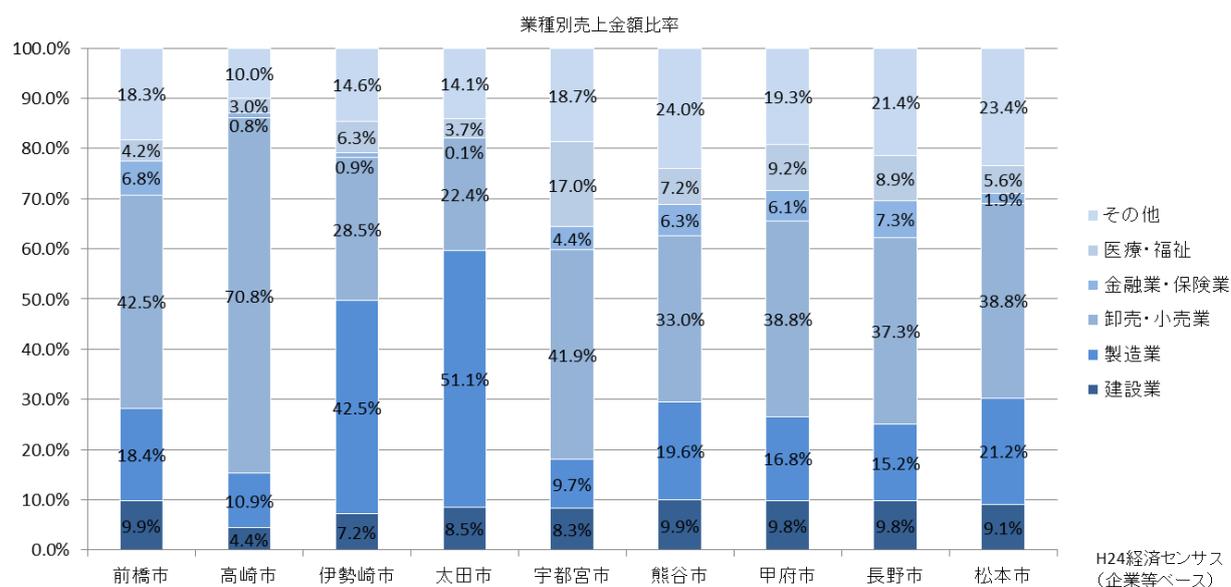
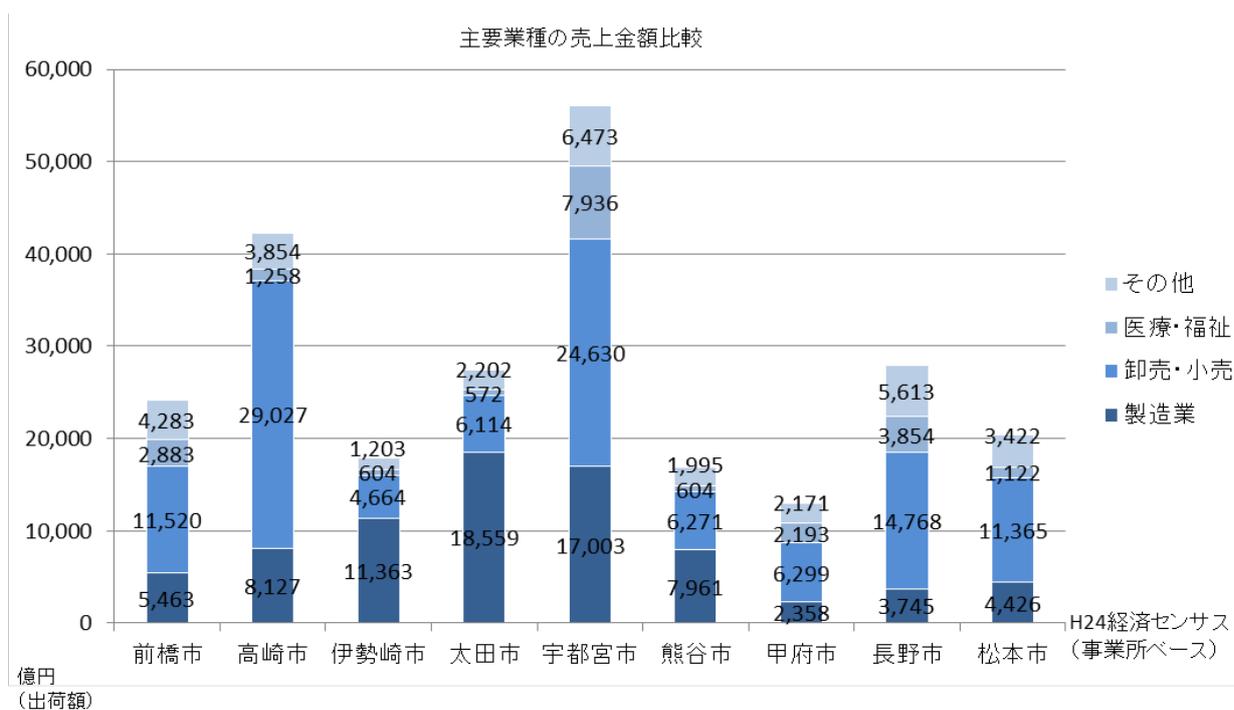
産業別総生産額と付加価値率の割合



3. 類似都市との産業構造比較

- 前橋市の年間での売上金額（原材料費等関連経費を含むもの）は2兆4000億円あまりであり、そのうち5400億円（23%）が製造業による。
- 前橋市では、卸売・小売業の占める割合が比較的大きいが、その他の産業においても他市と比較してもバランスの良い構造となっている。

※使用した経済指標が異なるため、数値は一致しない



業種別売上金額比率

	前橋市	高崎市	伊勢崎市	太田市	宇都宮市	熊谷市	甲府市	長野市	松本市	9市平均
農林漁業	0.9%	0.5%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	1.6%	0.3%	0.5%
建設業	9.9%	4.4%	7.2%	8.5%	8.3%	9.9%	9.8%	9.8%	9.1%	8.6%
製造業	18.4%	10.9%	42.5%	51.1%	9.7%	19.6%	16.8%	15.2%	21.2%	22.8%
情報通信業	1.8%	0.6%	0.5%	0.3%	2.1%	1.3%	2.5%	3.0%	1.2%	1.5%
運輸・郵便業	1.9%	1.0%	4.9%	3.8%	2.1%	4.7%	1.9%	1.6%	2.0%	2.7%
卸売・小売業	42.5%	70.8%	28.5%	22.4%	41.9%	33.0%	38.8%	37.3%	38.8%	39.3%
金融・保険業	6.8%	0.8%	0.9%	0.1%	4.4%	6.3%	6.1%	7.3%	1.9%	3.9%
不動産・物品賃貸業	2.5%	0.8%	0.9%	2.2%	2.0%	1.4%	2.3%	3.5%	2.0%	1.9%
学術研究・専門・技術サービス業	1.9%	0.7%	0.8%	0.7%	2.1%	1.1%	1.6%	1.7%	1.3%	1.3%
宿泊・飲食サービス業	1.1%	0.7%	1.4%	1.2%	2.0%	7.1%	1.5%	1.6%	2.2%	2.1%
生活関連サービス・娯楽業	2.6%	3.8%	1.6%	1.5%	2.9%	3.3%	2.1%	1.6%	7.1%	2.9%
教育・学習支援業	2.2%	0.5%	0.5%	1.0%	1.0%	0.9%	3.9%	3.0%	3.4%	1.8%
医療・福祉	4.2%	3.0%	6.3%	3.7%	17.0%	7.2%	9.2%	8.9%	5.6%	7.2%
複合サービス事業	0.6%	0.3%	1.2%	0.4%	0.8%	0.5%	0.2%	1.0%	1.6%	0.7%
サービス業(他に分類されないもの)	2.8%	1.2%	2.5%	2.7%	3.3%	3.5%	3.3%	2.4%	2.3%	2.7%
他市比較ベスト3に入る業種数	6	3	3	2	6	6	5	9	5	

※他市比較し、上下3番目までを網掛け、極端に比率が大きいものは赤字で表記

H24経済センサス(企業等ベース)

